

し ぶ し 志布志



市議会だより

No.18 2010. 8.12 発行



再開の祝砲
道の駅松山
やちくふるさと村

6月
定例会

ブランド推進課設置案を否決	2
市営松波住宅の建替え用地を取得	3
6月補正 肉付け予算へ	4
医療費助成を拡充	6
松波団地 1棟6戸建設へ	7
10 議員がいったん質問	8

6月定例会

ブランド 推進課

設置案を不決

ブランド化推進の必要性は評価

事業を日本一のものにするため、課を立ち上げることによりさまざまな形で先進的な方向性が見えてくる。また、市民からも提言が出てくると考えている。

Q ブランドと日本一を混合していないか。

A 日本一であれば、ブランドに認定される早道だと考える。

Q もう少し庁内で精査をして、来年の当初で出すべきでは。

A 市民から早く取り組みをしてほしいとの声があった。ブランド推進の協議会も立ち上げることに、新たな具体的提案もでてくる。23年の4月には明確な形で示すことができる。

課設置条例の 一部改正条例

各課の最重要施策の推進と地域ブランドの構築を図り、住みよいまちづくりを目指すために、新たにブランド推進課を設置する。

- ①市長の特命に関すること。
- ②地域ブランドに関すること。

本会議での質疑応答

委員会での質疑応答は5頁

Q ①本市のブランド商品として、どのようなものを育てていこうとしているのか。②ブランド商品に育てるには長い年数も必要だが、どのような過程を経るのか。③職員配置は。

A ①全国市でNo.1であるゴミの資源化率を

核として、鰻の生産、お茶、黒豚黒牛、イチゴ・ピーマン等である。

②ブランドの確立にはかなり厳しいものがあるが、日本一を目指すのと目指さないのでは、差が出る。課設置後、ブランド推進の係や庁議等と連携しながら、取り組みたい。

Q 他の関係課との連携をどう構築していくのか。

A 各課との業務分担、連携については、主要事業をやっていくことにより、認識がお互いに深まり、内容がブランド推進課で取り組むものであれば、取り組みたい。

日本一を目指すとなれば、所管の課だけでは実現が難

しいため、ブランド推進課を中心としてやっていく。

Q 企画政策課との関係は。

A 企画政策課は振興計画等長期的な政策推進や、方向性等を定め、その中で総合的に取り組むべきものをブランド推進課で行う。

Q 課設置は拙速すぎるのでは。具体的には何をするかが見えない。室なりにじっくりと対応すべきでは。

A ゴミの資源化率、健康増進運動、ICT



起立採決による賛成少数で否決

平成22年6月定例会を6月7日から29日までの23日間開き、一般会計・国民健康保険特別会計の補正予算など議案11件を審査しました。

市宮松波住宅建替え用地の取得費用5500万円や口蹄疫子牛緊急支援事業3456万円を盛り込んだ一般会計補正予算は可決、ブランド推進課を新設する課設置条例の一部改正条例は賛成少数で否決となりました。

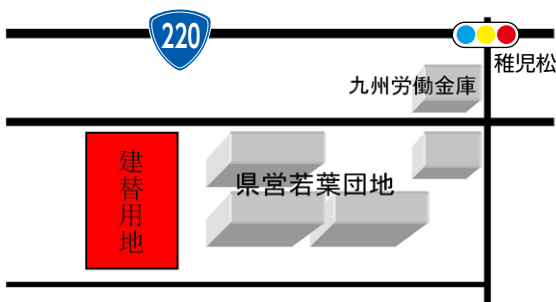
他の議案及び発議1件は原案どおり可決し、30人学級実現と義務教育の国庫負担を求める意見書を国に提出しました。

一般質問は10名の議員が施政方針などについてたがしました。

市宮松波住宅建替用地を取得



志布志町 若葉団地隣の建替用地



財産の取得について

市宮松波住宅の建替え用地として、県営住宅若葉団地に隣接する土地を購入する。

用地面積が5806・79㎡、買収価格5458万円、買収の相手方は志布志市土地開発公社である。
(全会一致で可決)

本会議での質疑応答

Q ①この用地取得は、公営住宅ストック活用計画によるものか。②現在建っている公営住宅の跡地利用は。

A ①若浜、松波、通山、肆部合住宅は、ストック計画の中で年次的に建て替えていく。松波住宅は、空き家解体が進まず、現地での建て替えが厳しいため近くの土地に建て替える。

②運動公園の隣接地でもあるので、スポーツ公園ゾーンとしての跡地利用を考えている。

Q 建替え地には何戸の住宅を建設予定か。買収価格は適正なものか。また、対象住民への周知はなされているか。

A 6棟30戸程度の建設を計画している。計画段階で地元への説明会を開いた。

価格については、隣接地の売却価格等を参考に鑑定評価をした。

Q 現在の松波住宅の居住者が最優先になるのか。

A 現在の居住者が最優先になる。ストック計画では松波住宅は70戸を目標にしている。道路反対側にある開発公社の土地も、全体的な建替え計画をしている。

Q 現在の居住者の同意があった中で進められているのか。議論の進め方は。

A 説明会では家賃も6年間段階的に代わることも説明している。長期的な計画で進むため、20年近くをかけて全体を建て替えていくなかで、推移を見ながら移転の希望者を募り進めていきたい。

Q 人口の流れや各地域のあり方を見据えて建設すべきと思うが、都市計画はどういう人たちが決定したのか。

A 長期計画に基づき企画政策課、財務課と協議をしながら進めた。

議員表彰

全国市議会議長会より、永年勤続議員として前議員を含む3名が表彰され、6月定例会で、表彰状の伝達が行われました。

表彰議員 10年以上

宮田慶一郎 前議員

15年以上

野村 公一 議員

谷口 松生 前議員

※表彰規定により町議の年数は1/2で換算



議長から伝達を受ける野村議員

肉付け予算

6月補正

一般会計 178億4777万9千円へ

6月補正の主な内容

会計名	補正額		補正後の額
一般会計	2号	15億8453万5千円	178億4777万9千円
	3号	3456万円	
国民健康保険特別会計	2013万円		47億8300万9千円

事業仕分けの実施	110万円
補助金の見直しに事業仕分けを実施	
ブランド推進事業	301万円
地域情報通信基盤整備推進事業	688万円
臨時職員雇用や事業説明用チラシの作成	
消費生活相談員設置事業	163万円
相談員を1名増員	
太陽光発電システム設置事業	360万円
専用住宅用太陽光発電システム設置を補助	
児童クラブ施設整備事業	368万円
有明、蓬原児童クラブ開設に伴うプレハブ設置等	
保育所緊急整備事業	1億96万円
志布志町のひばり保育園を建て替え	
小児用肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業	354万円
2か月齢～3歳未満に接種費用の全額を助成	
口蹄疫子牛緊急支援事業	4872万円
4月～9月せり市出場予定牛飼養者へ支援	
漁協大型製氷機整備事業	6236万円
漁業者の安定操業のため製氷機を更新	

Q 一般会計の補正は、骨格予算であった当初予算に対し、政策的予算や普通建設事業等分を盛り込んだ肉付け予算として2号補正を、また口蹄疫対策事業の追加分を3号補正として計上しました。

本会議での質疑応答

Q ①地域情報通信基盤整備推進事業の住民への説明はどのように実施するのか。また、有明町の開発農協との協議は。②児童クラブのプレハブ設置には安

A 心子ども基金は活用できないのか。③しおかぜ公園の管理委託先と放送施設の有無は。

A ①約390の自治会を対象に全職員で実施し、校区単位での説明会も開催する。口蹄疫の状況を見ながら速やかに開催したい。開発農協との連携は見出せない現状である。②空き教室の改修や恒久的な建物が対象であり、プレハブレンタルは補助対象とならない。③しおかぜ公園は志布志港の港湾施設のため県が本市へ

Q ひばり保育園の建替えについては、民間移管時さまざまな議論をした経緯がある。今後、市も助成をする方向で良いのか。

A 市としても積極的に対応すべきと認識している。地域の状況を考えながら協議をしていく。

請願陳情の受け付けについて

市などへ意見や要望があるときは、だれでも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

- 請願 請願書の提出は、本市議会議員の紹介が必要です。
- 陳情 陳情書の提出は、本市議会議員の紹介は必要ありません。

◇提出について

受け付けは常時行っていますが、**定例会前の議会運営委員会前日**までに受け付けたものが、その定例会会期中に審査されます。

それ以降に受け付けたものは、次回以降の定例会で審査することになります。

※ 詳しい日程、手続き等の詳細については議会事務局へご相談ください。

意見書

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に関する意見書
(要旨)

将来を担う子ども達への教育は極めて重要であり、子ども達が全国どこに住んでも教育の機会均等が担保され、教育水準が維持向上されるため、①OEC D諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級を推進すること。②義務教育費国庫負担制度を堅持し、国庫負担割合を2分の1に還元すること。を強く要請する。

内閣総理大臣をはじめ関係機関に提出しました。



志布志市立八野小学校の今後に関する陳情書
観光活性化に関する陳情書
自主共済制度の保険業法適用除外を求める意見書採択の陳情書

の3件は継続審査となりました。

ブランド推進課設置 ちよつとまって 地域ブランドの確立が先

総務委員会



ゴミの資源化率日本一をブランド化へ

課設置条例の一部改正

Q ブランド推進課を設置することに至った経緯と今後の考え方は。

A マニフェストにあげた課設置は、4月実施には熟度が足りず6月議会の提案になった。課長以外、15人のプロジェクトチームで検討

会(4回)を行い意見集約し、行財政改革推進本部会議(1回)で決定した。環境を基本に、情報基盤、健康づくりに事業を日本一にするために取り組むことが、地域ブランドにつながる。今評価を受けているものから取り組む。

Q 総的に設置の熟度が足りないのでは、課設置による推進よりも準備段階として対応すべきと思うがどうか。また、行革の定員適正化計画との整合性は。

A 7月に課を設置し推進協議会を立ち上げ、方向性を確立しておかないと、来年4月にスタートできない。行革との整合性は、組織再編に向けて検討チームを設け、12月までには結果をだしたい。

実現していきたい。

Q 市庁舎誘導灯改修事業で、LEDに取り替える79か所分は廃棄するのか。LEDの耐用年数は。また、庁舎照明灯への利用は。

A 廃棄する。耐用年数は7年。二酸化炭素削減や費用対効果で電気代は削減になるが、電球1個あたりのコストなどからまずは非常灯から検証し、年次的にやっていく。

Q 事業に110万円を使い実施しようとする理由は。

A 財政改革に寄与するために、事業仕分けに取り組む。

Q 仕分け人に対して補助金を受ける団体は、同じテーブルに着くのか。

A 着かない。受け答えは所管課の課長、並びに担当者である。

Q 消防団員弔慰救済基金433万3000円の増額補正の内容は。

A 平成21年度末の退団者が松山方面隊7人、志布志方面隊7人、有明方面隊3人、計17人分の弔慰救済基金積立金の不足分である。

反対討論 課の設置だけを急ぎ内容も不透明で、平成23年度の組織再編にあわせ、地域ブランドを確立してから設置すべきである。

賛成者なしで否決

一般会計補正予算 (第2号)

Q 消費生活相談員設置事業で、相談員は2人体制になるが、相談室を設け、常時相談できる環境をつくれな

A 来年末までは、国の基金等を活用し運用できるSD、

A 8月下旬、志布志支所が文化会館で今、いろいろ調整中である。仕分け人として、行財政改革推進委員10人と指導員を2班に分け、6人体制でやる。1班、6事業ずつの12事業を予定している。30万円以上の補助金額の事業、外部の視点から意見を聞く必要のある事業、事業の範囲、経費等で市の裁量余地のある事業の3つの条件を満たす補助事業を仕分けする計画である。

医療費助成を拡充

文教厚生委員会

乳幼児医療費助成の 一部改正条例

Q 改正の内容は。

A 現在は、小学校入学前の乳幼児の医療費を助成しているが、これを中学校卒業前の子どもまで拡充する。ただし、小学生から中学校卒業前の子どもについては、ひと月に支払った額が3000円を超えた分が対象である。

これにともない、条例の名称も「子ども医療費の助成に関する条例」に変更する。

小児用肺炎球菌ワクチン 接種費用助成事業

Q 事業の内容は。

A 細菌性髄膜炎、菌血症、肺炎、中耳炎などの病気の原因である肺炎球菌から抵抗力の弱い乳幼児を対象に小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の全額を助成する。

一般会計補正予算 (第2号)

(第2号)

Q 志布志町の旧給食センターの解体費が計上されているが、内容と跡地は何に使うのか。

A 埋蔵文化財の保管施設としての再利用を計画していたが、老朽化が著しく耐震補強も不可能であることから、解体となった。跡地は、香月小の駐車場として利用したい。



志布志町の旧給食センター

Q 緑の分権改革推進事業で設置を計画している研究会とは何か。

A 埋め立てゴミの半分の1000トンが紙おむつであるので、これを固形燃料として再利用する方法を研究する会とチャレンジ25を達成するための会である。

Q 太陽光発電システム設置事業の内容は。

A チャレンジ25の取り組みの一環として、7月1日以降、専用住宅に太陽光発電システムを設置する際、1KWh当たり3万円(上限4KWh)を補助する。これには、国も県も別途補助がある。

Q 今後、他の保育園から同様な計画が示されたときも補助はするのか。

A この基金事業は今年度までであるので、今後は市独自の制度を設けるべきか協議したい。

国民健康保険特別会計 補正予算(第1号)

Q 法定外繰入金として一般会計から5000万円と基金の取り崩しを5000万円しているが基金はいくらあるのか。

A 5月末で1億670万円であったが、今回5000万円取り崩したことにより、残りは5670万円である。

Q しおかぜ公園管理業務事業の内容は。

A 志布志港新若浜地区に新しく整備された緑地を多目的広場として、市が管理するもので、それに必要な備品の購入費と管理委託料である。

Q ふるさと志基金(ふるさと納税)を充当しているが、使途目的は何か。

A ふるさと納税の使途指定が教育用であったので、サッカーゴールの購入費用にあてた。

整備中のしおかぜ公園



松波団地1棟6戸建設へ

産業建設委員会



松波団地の完成予想図

財産の取得について
(市営松波住宅建替用地)

Q この土地を建て替えて用地とした理由は。

A 政策空き家が進んでいないために現在の松波住宅には建て替える土地がないこと、旧志布志町の構想で

この土地が公営住宅団地の建て替えの位置として示されていることから計画した。

Q 1㎡当り94000円の価格は妥当か。

A 不動産鑑定による評価額であり、通常の価格ではないかと考えている。

Q この土地に何棟の住宅建設を計画しているのか。

A 22年度は1棟6戸の着工を計画しているが、最終的には6棟30戸の予定である。

一般会計補正予算
(第2号)

Q □蹄疫子牛緊急対策事業1416万円の内容は。

A □蹄疫の発生による子牛せり市の延期に伴い、せり市出場予定牛1頭当り月額1万円を補助するもので、5月の臨時会で4月・5月のせり市延期分を措置していたが、6月せり市の延期に伴い、6月出荷予定分を計上している。

Q せり市が7月まで延期になった場合はどうするか。

A 動向を見極めながら、適切な措置で9月議会まで延ばすことがない段階での農家支援に取り組みたい。



夏井漁港を現地調査する産業建設委員

すの施設園芸に対して天敵昆虫の導入、害虫侵入防止資材の導入助成を実施し、安全・安心な農産物を求める消費者の期待にこたえるため、農薬の使用低減を図るものである。

Q 公営住宅ストック活用事業による公営住宅建て替え計画はこの住宅か。

A 松波団地1棟6戸、肆部合団地1棟4戸の建て替えを計画している。

Q 危険廃屋解体撤去事業の内容は。

A 市内景観の向上及び市民の安心・安全な住環境の確保を図るため、危険廃屋の解体及び撤去に伴う費用を、経費の3分の1、30万円を上限に補助するものである。

Q 夏井漁港の消波ブロック設置の目的は。

A 荒天時に流入する砂が港内にたい積し、船の揚げ降ろし作業に支障を来しているため、消波ブロックを設置することで港内への砂の流入を防止するものである。

Q 環境にやさしい農業推進事業の内容と目的は。

A プーマン、いちじく、な



鬼塚 議員

鬼塚弘文議員 市立八野小学校の今後に関する陳情が提出されている。内容として、「平成13年から八野小学校の今後を考える会を発足して会合を重ねてきた。結果として、特認校の導入、PTAの先進地研修等を実施してきた。平成22年度の児童数が10名であり内訳として、地元の児童数1名、教頭先生の子ども2名、特認校生7名である。そこで歴代館長、PTA会長、敬老会会長、婦人会等で、今後の八野小学校について、話し合いを重ね、今年度の公民館総会において、慎重な協議の結果、誠に残念であるが、子ども達の教育環境を最優先に八野小学校は、閉校することが望ましいとの結論に達した。当校区の新たな再出発のため、校区の90%を超す署名をもって、陳情が4月

八野小学校の今後は

▼地域と一体となって進める



八野小学校で開かれた潤ヶ野、森山、八野小合同での軟式野球教室

27日に提出された。(1)八野小学校は22年度をもって、閉校していただきたい。(2)八野校区内に居住する、児童の通学手段の安全確保を願いたい。(3)八野校区再生のため、校区内唯一の公共施設であ

る、学校跡地、校舎、グラウンド、体育館、プール、校長教頭住宅の有効活用をしてほしい。」提出者が公民館長、PTA会長である。この陳情をどのような思いで受けとめているか。

市長 地元民の総意として提出されたことについて、地域の方々にとり、

苦渋の選択であったと思う。この陳情が採択された場合、地域活性化のため先進の市町村を参考にしながら、八野校区活性化のため地域の方々の意見を聞きながら、一体となって進めていく。学校の施設利用については、行政、教育委員会、地域と綿密に連絡を取り合い、地域振興の「モデルケース」として捉えさせていただきます。

教育長 校区内の子ども達のため、校区民の将来のため、重たい決断をされたことに対し敬意を表すものである。地域活動が停滞することのないよう、関係部局と連携を図りながら支援をしていく。

児童の通学手段は、議会にも相談し支援体制を

作っていく。

副市長 守りから前進への転換である。将来において、あの時の決断は正しかった、と言えるような活力ある八野地域の再生に向けて、前向きな今後の取り組みが必要である。

行政としての支援は

問 閉校委員会、八野再生委員会を立ち上げてい

るが、行政としての支援が必要と思うがどうか。

模索を重ねる

市長 跡地利用については模索を重ねていくための措置は十分公示したい。

集落道改良は

問 森山地区内集落道の早期改良の要望書が提出されているが、対応はどうなっているか。

努力する

市長 現地は確認しており、整備が図られるよう努力したい。



森山地区内の集落道



西江園 議員

非営利 団体の 指定管理者制度見直しを

▶ 3年後にふさわしい形を

西江園 明議員 合併後、本田市政はさまざまな公共施設に指定管理者制度を導入してきた。ボルベリアダグリや松山町にある道の駅は営利を目的とするが、管理を主目的とする公共施設管理公社は、3年ごとに継続して業務を行うために、職員の給料を下げて入札している。また年度末には、精算をして余った場合は、市に返還しなければならない。このような職員のやる気を失うような指定管理者制度は見直すべきと思うがどうか。

市長 この制度は、行財政改革の中で取り組んできた。公共施設管理公社については、今年度3年の契約がスタートしたので、この期間に十分検討し、3年後にふさわしい形のあり方を模索したい。

図書館も導入するのか

問 この制度は公的責任を負わねばならない施設も対象である。そのひとつである市立図書館についてはどのように考える

か。

他の自治体の状況を見て

教育長 制度を導入している他の自治体の状況を見て判断したい。

「しおかぜ公園」の管理について

問 現在整備中の志布志港新若浜地区にサッカー場が3面も取れる大きな



8月から供用開始されたしおかぜ公園

緑地公園（しおかぜ公園）が完成した。今後、国・県有地であるこの公園の管理を市が行うことになったのはなぜか。

市が要望した施設である

市長 サッカーコートは整備については、旧志布志町から県に要望書が提出された経緯がある。その後、この公園の整備事業は、市が管理すること

を条件に進められた。

トイレなど施設の整備も市が

問 サッカーフェスティバルやグラウンドゴルフの大会にはたくさんの方が訪れる。トイレや給水施設などの整備は、県が行うのか市が行うのか。

県に要望する

市長 現在トイレは1か所建設中である。今後、新たな施設の整備については、県有地であるので県にお願いする。

運動公園にシャワー施設の整備を

問 これだけ芝生のグラウンドが整備されると、志布志市を訪れるスポーツ団体は、さらに増えると考えられる。サッカーは雨が降っても行う競技であるから、試合終了後、選手が気楽に使えるシャワー施設を運動公園に整備できないか。

プールや体育館の

シャワー施設を開放

教育長 現在の運動公園に整備することは困難である。サッカーフェスティバル等で主催者や参加者からシャワーの利用の要望があれば、隣接する温水プールや体育館にあるシャワー施設を開放する。

サッカーフェスティバルの経済効果は

問 毎年夏休みには、全国から相当数の高校生がサッカーのために本市を訪れる。宿泊など、どのくらいの経済効果があるのか。

約3500万円の

経済効果

港湾商工課長 昨年の実績で86校が参加し、うち県外が44校である。宿泊代、弁当代などで、約3500万円の経済効果があった。



小野 議員

職員の資質向上を図れ

▼質の高い行政サービスの提供に努める

小野広嗣議員 施政方針には、「人事評価制度の取り組みを推進し職員の活性化に努める」とあるが、市民に行政サービスを提示する職員の資質向上へ向けた今後の具体的な取り組みについて示せ。

市長 人事評価制度の取り組みを推進し、職員個々の能力や実績等を的確に把握して、適材適所の人事配置やメリハリのある給与処遇により職員の業務遂行意欲を向上させ、限られた人員の中で質の高い行政サービスが提供できるように努めたい。

問 以前、先輩・ベテランの職員が、新人職員や3、4年の職員が抱える悩みの解決にあたるよう、メンター制度を導入して対応するべきではないか。



いかと提案したが、その後、協議はなされたのか。

今後、取り組みたい

市長 昨年の3月議会でメンター制度についての考え方を求められ、制度が有効な制度であれば取り組みたいと答弁したが、現在の段階まで取り組んでおらず、このことについては、今後、取り組みたい。

クールアースデー実施へ

問 「チャレンジ25」と声高々に叫ぶのであれば、クールアースデーに取り組み「ライトダウンキャンペーン2010」を市民に呼びかけ、CO2の削減にチャレンジすることにより、理解がさらに深まるのではないか。

全市的に取り組んでいく

市長 認識不足であった。まだ間に合うので6月25日、7月7日のクールアースデーには、全市的に取り組むよう各事業所、市内全域に呼びかけたい。

1丁関連の経費削減を

問 1丁の活用は市の業務に必須であるが、一方ではその経費削減が大きな課題である。効率的な経費削減へ向けた取り組みとイントラネットパソコンの配備台数、教育用パソコンの配備台数及びその調達方法を示せ。

経費削減に努めていく

市長 今後の重点的な取り組み事項である行政の簡素化、効率化の中で既存の情報システムの運営経費削減、効率的かつ効果的な情報システムの見直し、刷新を目標と

している。イントラネットパソコンの配備台数は447台。教育用パソコンの配備台数は、974台である。調達については、国が示す、特定のメーカーに左右されない標準的な仕様の活用を考えている。

オープンオフィス導入を

問 イントラネットパソコン、教育用パソコンにオープンオフィスの導入の考えはないか。また、ファイル形式の国際標準規格への考え方を示せ。

今後、調査研究したい

市長 オープンオフィスについては、現在、情報管理課職員の端末にインストールして操作性、機能性、互換性という面から比較検証をしている段階である。オープンデスク

メントファイルは国際標準規格に認定され、多くの企業や自治体で利用が増えているので、選択肢のひとつとして、今後さらに調査研究したい。

子供の体力向上を目指せ

問 文部科学省の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を見ると、子どもの体力の低下傾向は深刻である。体力は人間のあらゆる活動の源であり、健康な生活を営むうえでも、また物事に取り組む意欲や気力といった精神面の充実にも深くかわる問題である。本市の子供の体力向上を目指した小中学校の取り組みについて示せ。

知・徳・体のバランスがとれるよう努めたい

教育長 一校一運動を定め、取り組んでいる。今後とも、各学校における取り組みに適切な指導助言を行い、地域や家庭と連携を図り、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成に努めたい。



長岡 議員

口蹄疫対策は万全か

▶ 近隣と連携して侵入防止を



高岡口での消毒作業

長岡耕二議員 今回の口蹄疫は、その感染力の強さから、畜産農家だけでなく、地域経済、一般市民に及ぼす影響も尋常ではない。この機会に法定伝染病への予防対策は万全か。

市長 口蹄疫の予防対策として、防災無線による発生の周知や侵入防止に

係る文書配布、消石灰等消毒薬の配布を行い侵入防止に努めている。

市内への進入車両の消毒については、高岡口、港湾第二突堤、広域農道松山町藤野、八郎ヶ野、柳井谷、夏井に消毒ポイントを設置している。不足している点もあるかと思うが、考えられる対策はその都度講じている。

志布志市独自のマニュアル作りが必要ではないか

問 志布志市は多くの飼料工場、二か所のと畜場、関連施設、また輸入貨物もあり、他市町村より特異性がある。予防対策と発生時対応等で、国や県の指示待ちでなく、より早く、より具体的に動けるマニュアル作りが必要ではないか。

担うべき分は作成している

市長 発生時の対策については、国県の対策本部の指示に基づき対応となるが、本市が担うべき業務については、対応策を作成している。また県においては初動体制のあり方等細部まで作成されるのでそれを参考にしながら対応を重ねていきたい。

曾於地域公設卸売市場に貯蔵施設を

問 昨年末はいろいろな作物が大豊作で貯蔵施設が足りなく、畑に放置された。



曾於地域公設地方卸売市場

今春は寒さのため、野菜不足となった。そこで、公設地方卸売市場に農産物の貯蔵施設を設置し、コンスタントに農産物を安定供給できるシステム作りをして、地域の農産物のブランド化が図られるのではないかと。

管理組合に判断をゆだねたい

市長 曾於地域公設地方卸売市場は曾於地域の成果物の安定供給と農家の所得向上を目的と

して昭和57年に設置され、7473t、5億8千万円の取り扱いだっただが、現在は約半分程度まで減少している。このような状況下で野菜の鮮度保持、良質の青果物を提供することは、日常の機能維持のために必要と考えるが、費用対効果を検証する必要がある。

市場の運営については曾於市大崎町志布志市で構成する曾於地域公設地方卸売市場管理組合の運営なので判断をゆだねたい。



立平 議員

防霜用畑かんの水不足対策は

▼事業採択に向けて取り組む

立平男議員 お茶の防霜対策には主に散水と防霜扇の2通りの取り組みがなされている。防霜扇は防霜に限界があり、今年も被害があったが散水水結法は被害が無く、水の効果が大きかった。お茶の防霜と害虫駆除対策には水が有効であるが、曾於南部地区の畑かんは分水工によっては水不足である。県営事業も26年度で終わるが、今後の事業はどのように取り組むのか。

市長 現県営事業と重複して新たな県営事業は実施できないので、市の生産性対策事業等による助成制度の創設や、畑かん受益地内でも防霜扇の設置の補助ができるように検討する。県営事業終了後の新規事業を検討する際には水源の確保、農家の意向調査等を早急に行



茶畑での防霜散水

い、水不足の状況を解消できるような事業採択に向け取り組む。

水道水を防霜用に利用できないか

問 旧有明町では一部水

道水を農業用水に活用してきたが、今後も農業用として使用できないか。

余裕があれば対応する

市長 各配水池の容量、希望面積等を把握して余裕があれば検討して対応する。

水道局長 宇都地区の配水池については、農村総合モデル事業で営農飲雑用水の目的で建設している。

整備後の利活用は

問 情報通信基盤整備事業が今進められている。これは行政告知端末を全戸に設置して市民が安心できるシステムを構築するものである。整備後医療、福祉、観光、地場産業、教育、防犯防災等、優先度の高いものから順次進

めていくとあるが、どのように進めるのか。

若手職員で調査研究

市長 各課の若手職員からなる利活用プロジェクトチームで調査研究を行っている。さまざまな分野において有効活用を進めるために国の交付金を活かしシステムの整備を図っていく。



情報通信基盤整備利活用プロジェクトチームの勉強会

有明町開発農協への対応は

問 開発農協の有線放送事業は行政連絡、JAの情報提供、各校区自治会連絡、防災放送等多岐にわたり広く活用されている。50年間行政が担うべき部署であったと思うが、情報基盤整備後の開発農協への対応はどうするのか。

協議を重ねて進める

市長 市から年間3000件、回数は2000回程度放送を依頼している。火災や行方不明の捜索に関する緊急放送等大きな役割であると認識している。情報基盤整備事業を導入することについて協議を重ねているが、改めて開発農協、JAあおぞらに説明をして進めて参りたい。



小園 議員

口蹄疫 影響と支援策は

▶ 生産農家 5 億 1800 万円売上停止



松山町わらび野での消毒作業

小園義行議員 宮崎県で口蹄疫が発生し1か月以上になる。本市への影響をどのようにとらえているか。

市長 子牛せり市が4月から6月まで延期になっている。子牛出荷予定頭数が約1400頭となっ

ている。仮に3月せり市の平均価格37万円とする、5億1800万円の農家売り上げが停止している状況である。

肥育牛経営については4月以降計画的な肥育素牛の導入ができていない。酪農についても子牛が都城や熊本の出荷

できず売り上げが一部停止している。間接的な影響として、商工業者については、会議開催の中止、延期縮小による飲食や弁当の提供が自粛されている。

宿泊業においてもキャンセルがでている。

支援のあり方は

問 本市の経済への影響は計り知れない。今の段階で具体的な支援のあり方をどのように考えているか。

元気のなる対策をする

市長 畜産農家には経営に係る支援として利子の補給をする。商工業者には商工業資金利子補給事業を実施して経営負担を軽減する。また、商工業者と消費者対策としてプレミアム商品券の発行事業を実施する。

国保規則の見直しは

問 今回の口蹄疫の発生を受けて、国保加入者の税の負担を軽くするため

に規則の見直しは考えないか。

別途考える

市長 税の減免については、国保税の性格上、この方々のみ対象者を限定することに少し無理がある。別途、全体的な対応を考えながらやっていきたい。

本庁の位置見直しは

問 施政方針で組織機構の見直しと再評価をするのべているが松山支所や志布志支所のサービス低下を招かないことが大事である。そこで本庁の位置を志布志支所に移すという考え方にたつて計画が進められないか。

引き続き連携を図る

市長 志布志地区での、サービスの要求の多いことについては、十分承知している。そのことについては窓口業務的な形の職員の配置で対応を進めてきている。今後も有明に本庁舎を置いて



市役所本庁舎

式のなかでの組織の再編を考えていきたい。



鶴迫 議員

不公平感なくせ給食未納問題

▼子ども手当と給食費同一口座検討

鶴迫京子議員 本市のこども手当受給見込み世帯数と支給額はいくらなるのか。また、申請率など現在の状況は。

市長 市内の支給対象件数は1006件で、そのうち、737件に申請書を発送した。残り269件は、公務員に関する

特別措置対象者で、福祉課への申請不要分である。現在までの申請者は648件で、申請率は約88%、公務員の分を含めると市全体で91%になる。6月10日支給日の受給世帯数は、2346世帯で、支給総額は1億580万7千円である。

文科省の呼びかけ通知 内部で協議をされたか
文科省が、「子ども手当の支給と給食費の引き落とし口座を同じくするよう保護者に協力を求めて」と、呼びかける通知を各都道府県の教育委員会にだした。これを受けて通達があったと思うが、取り扱いについて内部で協議をしたのか。

10月支給分から 検討したい
教育長 5月24日付けの県教委からの通知を受け、同日、各小・中学校給食センターにも通知し、担当課とも協議した。対象者の子ども手当を窓口での現金支給とし、そこに給食センター職員と学校職員が出向き保護者の理解を求める。6月支給分は終わっており今回は難しいので、10月支給分から徴収するように検討したい。

給食費の未納対策は
問 本市の全小・中学校の給食費の未納状況はどうなっているのか。また、未納を減らすための対策がとられているのか。

あらゆる手段を 尽くしている
教育長 平成22年5月末現在の未納額は、422万1552円である。滞納者には電話催促や文書催告、夜間臨時徴収など実施し、また、献立表にも記載している。PTA役員や給食センター職員の協力をもらい、徴収している学校もある。あらゆる手段を尽くして、限りなく完納に近づけるように努めている。

子ども手当と給食費の 口座を同じに
問 給食費未納問題について、保護者に意向等のアンケート調査を実施し、保護者間の不公平感を解消するための仕組みをつくり、子ども手当は法的な差し押さえ規定はない

PTAの同意が必要 アンケートは提案する
教育長 給食費を現在口座引き落としの8校にまずは働きかける。その他の学校には、口座引き落としに理解を求めたうえで、子ども手当と同一口座にしてもらい、お願いをする。PTA総会の同意を得て口座振替申請書等も必要になり時間もおかる。当面は、子ども手当の担当課の協力を得ながら食育の意義や給食費の現状を保護者に理解してもらい、未納問題の解決に努めていく。また、アンケート等は学校給食運営協議会で提案したい。



給食センター



金子 議員

7つの日本一の目標 自信 本気度は

▶ 実現可能な挑戦である

金子光博議員 施政方針で七つの日本一の目標を掲げているが①専門職員的人的配置②予算の裏付け③市民の理解と協力が必要になってくると思うがどうか。

市長 ①②専門職を今後新たに嘱託として採用していくことが進めば、予算付けをしていく。③市民と話をしながら、理解を求めてともに進んでいく。

垂れ幕を掲げては

問 日本一の目標を垂れ幕にして本庁、支所に掲げる考えはないか。

取り組んでいく

市長 素晴らしい考えだと思うので、取り組みをしよう。

公用車には

問 担当課の公用車に日本一の標語を書き入れて職員にそのことを意識させる考えはないか。

スローガン、キャッチフレーズを

市長 日本一づくりの意気込みを示すスローガン、キャッチフレーズを考え、取り組んでいく。

農林水産予算は

問 農林水産業費全体で志布志13億8566万円、曾於市22億2342万円、大崎町6億5078万円である。これについてどう考えるか。

1戸当りでは高い

市長 農家1戸当りにすると志布志市44万円、曾於市37万6千円、大崎町31万3千円で予算全体では少ないが、1戸当りでは高い。

ブランドの確立

問 最終的な目標は中身であり、ブランドの確立と所得の向上であるがどうか。

新たなブランド開発

市長 日本一にあるものを更に高め、みんなが日本一作りをしていくことがまちの元気の源になり、所得が増えていく結果となる。できることから着実に、スピードを上げて一生懸命に取り組むを

蹄疫対応について

問 蹄疫の発生により4月以降せり市が開かれず、大変な状況だが、農家に対して、JAが貸付制度ではなく、仮渡し金として対応してもらえないようにJAと協議する考えはないか。

市長 JAと相談する。



志布志港での消毒作業



福重 議員

口蹄疫早め早めの対策を

速やかに取り組む

していくべきではないか。

更に補強が必要

市長 納税猶予は相談に応じて対応したい。現段階では市場再開の見込みは立たない。期間が延長となれば更に補強が必要と思う。農家が苦境を乗り切っていけるような措置を講じていきたい。

湿田解消が危ぐ対策は

問 23年までの湿田対策の継続事業は、土地改良費が大幅に削減され、事業の継続は厳しく、湿田解消が危ぐされているが対策は。

中山間地域の整備で計画

市長 政権交代による事業仕分けにより、厳しい現状となった。現在、中山間地域の総合的な整備



耕作不能の湿田

を計画しており、湿田解消の地域も取り込み、24年度の採択を目指している。なお全国の自治体協議会による復活陳情を国へ行っている。

単独事業での取り組みは

問 湿田を抱えている農家は数年待てる状態ではない。基準を変えてでも単独事業で取り組むべきではないか。

再度協議を

市長 単独事業は地元負担がかなり生じる。中山間の整備のなかで取り組みを目指したいが、地元の意向をふまえながら再度協議をしたい。

今後の見とおしは

問 県道柳橋弓場ヶ尾地区の今後の見通しと、今後この路線にまさか局部改良、離合帯設置ということで話をしていないか。

柳橋まで完成予定

市長 柳橋までは上半期に工事発注し、完成予定である。残り区間は最重点路線として強く要望した。この路線は従来の改良工事で要望をしている。

福重彰史議員 せり市の中止や延期などで、農家は大変な苦境におちいり、不安と心配で戦々恐々として侵入防止にあたっている。危機意識と警戒心をみんなが共有して取り組む必要がある。そこで、

一般事業者や商店への消石灰散布の協力要請、消毒ポイントでの車両の全面的な消毒、脇道への石灰等の散布、郵便、新聞等の配達の問題など、早め早めの対策を打っていくことが大事だと思うが。



脇道に散布された消石灰

市長 曾於市と比較して少し遅かった。今後は速やかに防疫態勢に取り組みたい。消毒ポイントは関係機関とも協議を重ね、全面散布が必要であれば改良していきたい。市道、農道、集落道については今後新たに考えたい。配達物については県から協力要請をしている。

納税猶予だけでやっていけるか

問 農家は収入の道が途絶えており、いつまで続くのか心配している。しかし納税等は待ったなしである。一年間の納税の猶予があるが、期間の猶予だけでやっていけるか。県が国へ5項目の要望を出す予定だがしっかりとやっていただきたい。また国の追加対策もだが、動向を見極め、市として何ができるか真剣に対応



下平 議員

財政健全化を図るため人件費等を見直す考えはないか

▶ 取り組むべきと考える

下平晴行議員 自主財源が24・4%で主なもののが税込で30億円。税込よりはるかに多い人件費が34億7800万円である。再建団体にならないために、島根県の海士町では、特別職50〜40%、議員40%、職員30〜16%カットを行い財政健全化を図っている。本市も借金232億7400万円あるが人件費等を見直す考えはないか。また、□ 蹄疫の影響で、計画どおりの税収見込みはないと思う。しかし、人件費の歳出は変わらないがこのことについてどうか。

市長 実質公債費の比率は10・4%と県内45市町村で2番目に良好な指数である。また、集中改革プラン及び定員適正化計画に基づき、鋭意人件費の抑制を実施している。また、□ 蹄疫に伴って、景気が極めて悪化するようなことになれば、市としても襟を正すという意味合いからも取り組むべきと考える。

ふるさと納税制度の取り組みは

問 ふるさと納税を、より一層増やすために、市が3千円、事業者が2千円と送料、合わせて5千円の特産品を送付して納税を図っている先進地があるが取り組む考えはないか。

地元特産品の販売促進を高める

市長 県特産品協会に協力をしてもらい、地元特産品の宣伝、販売促進を高める策に取り組む。

防犯灯の設置について

問 防犯灯は何を基準に設置したか。なぜ地域の声を聞かなかったか。

通学路への設置が基準

市長 基本的な考え方として、通学路への設置を基準とし、設置間隔については、50mから200m範囲内で設置した。また、自治会等に照会

しなかったことについては手落ちがあった。不足しているところは見直しをする。

環境対策は

問 ウスカワゴロモが国の天然記念物の指定になったのが、平成22年2月22日である。そのウスカワゴロモが、家庭排水、畜産排水による富栄養化、合成洗剤や除草剤などにより成長が阻害されている。水質汚染の対策としてどのように取り組んだか。また、教育委員会として、ウスカワゴロモの保護の立場でどのように考えているか。

前川河川浄化対策協議会を設置

市長 前川の貴重な生態系を認識し、情報を共有しつつ、次の世代に美しい清流を残すため、地域の代表、自然保護活動団体、事業者、関係行政機関で、協議を行い、経済と環境を持続可能な発展を図ることを目的として、前川河川浄化対策協議会

を設置した。関係各課が連携を図り対処している。

専門機関に生育分布状況調査をする

教育長 文化財保護と河川環境保全を呼びかけて、市民の意識啓発をしていく。また、5年おきぐらいで専門機関に生育分布状況調査をする。

県道3号線(日南志布志線)の改良は

問 要望書にあるように、地域住民の生活道路として、子どもたちの通学路として、農林水産業の産

業振興の基盤として、福祉や災害時緊急対策道として大変重要な道路である。特に、子どもたちの通学路について、福島渡集落の1km区間が、狭い所では幅員が3・6mしかなく、大変危ない状況である。県に直接行って、改良のお願いする考えはないか。

県に直接お願いします

市長 この路線については、危険度が極めて高いので、要望を重ねてきている。今回、県に行ってお願いです。



県道3号線福島渡地区の状況

大切な米および米飯を、腐らすことなく大切に食べる。時代劇などで、旅人が竹の皮に包んだ握り飯をほおばるといふシーンをよくみかけるが、この竹の皮こそ、日本人が考えた万能梱包具だったのである。

そのほどよい堅さと頑丈な性質。しかも、縦に細かく裂けばヒモになる。この特性を、日本人は大切な米飯の保存という課題と結びつけた。竹の皮は笹の葉と同じように殺菌防腐力があり、しかも内側に適度な通気性があるため防水性までもちあわせている。表面はすべすべした膜に覆われているので、「飯やおむすびの海苔がくっつかないし、おかずの油もしみこまない。弁当箱に適した条件をすべてかね備えていたわけだ。こつとして考えてみると、自然素材をじょうずに利用した古の知恵を、大いに見直す価値がありそうだ。

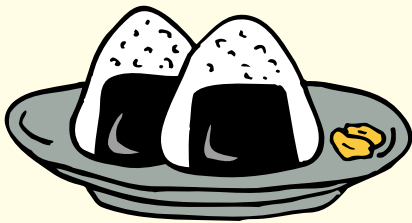
梅干しもまた殺菌効果の面ですぐれた日本独特の食品である。食



と健康の関係に敏感な日本人は、梅を土用干し（夏干し）にして梅干しをつくることを考案し、葉として使ったり、ご飯の上ののせて日の丸弁当として食べるようになった。

戦のときには唾液の分泌をうながして渴きをとめたり、保存が利き携帯しやすいため、戦の兵糧としても珍重された。アルカリ性食品であるため、酸性食品である米を中和する効果もある。

これもまた、梅干しの長所をうまく活用した和の知恵なのである。



どうぞ傍聴席へ 次回定例会は9月です

開会中はインターネットでライブ中継もしています。

また、同じくインターネットで平成22年2月までの会議の概要（会議録）を公開しています。

志布志市ホームページからご覧ください。

ライブ中継⇒志布志市トップページ≫議会中継≫議会中継（ライブ中継）へ
会議の概要⇒志布志市トップページ≫志布志市議会≫会議の概要へ

編集後記

西江園

明



議員の仕事は、市民と行政とのパイプ役、即ち行政の窓口でもあると考える。先般も、大雨による水田決壊を見てほしいとの相談を受けたので市役所の職員と現地調査を行った。

調査後、帰ろうとしたら、市役所の公用車は目立つので、付近の市民の人が、あわてて車を止め、現場を見てくれと依頼をされた。同行した職員の所管ではなかったが、職員も気軽に引き受け現場を調査した。そこで市民曰く、どこに頼んで良いのかわからないが、車が見えたので、車を止めた。

結局、三か所の現場を見た。まだ今どき、役所のどこに連絡すれば良いのかわからないという純朴な市民がいることに驚かされた。もつと身近な役所として、また、議員としてあるべきと感じた一日でした。

広報等調査特別委員会

- | | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 下平 晴行 | 玉垣大二郎 |
| 副委員長 | 坂元修一郎 | 鶴迫 京子 |
| | 平野 栄作 | 藤後 昇一 |
| | 西江園 明 | 毛野 了 |
| | 丸山 一 | |

発行責任者

志布志市議会議長 上村 環